

【リース最前線】

☆オペレーティングリース

弊社は、機械メーカー様と物件の下取りについて基本業務協定書を締結したうえで、リース料の算定基礎から、下取り相当額の残価を控除したオペレーティングリースを取り扱います。本事業は本年7月に本格的にスタートする予定です。

お客様にとっては、残価を控除するので、通常のリースに比べリース料が安価になり、期間満了時には、契約更新・物件返還・物件買取を選択できます。

オペレーティングリースとは、会計処理上、ファイナンスリース取引以外のリース取引のことをいい、一般的には契約条文中に中途解約禁止条項がないリース契約、あるいはリース料総額の現在価値がリース物件の取得価額の90%未満であるノンフルペイアウトのリース契約をいいます。オペレーティング

リースに判定されると、新リース会計基準・新税制では、全ての企業について賃貸借処理が認めら

包装リースだより⑨

新事業のご紹介

株式会社日本包装リースは、日本包装機械工業会の会員が出資して設立した包装機械・関連機械の専門リース会社です

れ、「オフバランス効果」と「全額費用・損金処理」が可能になります。

【リースQ&A】

☆新リース会計基準のポイントとは？

2008年4月以降に開始する事業年度より、株式上場する会社及びその子会社・関連会社や会計監査人を設置する会社(資本金5億円以上または負債総額20億円以上)及びその子会社において適用されています。

新リース会計基準において所有権移転外リース取引は、従来の賃貸借処理に代わって売買取引に準じた会計処理を行うことになり、それまでのリースのメリットであった「オフバランス効果」(貸借対照表(バランスシート)に資産として計上しないこと)がなくなりました。

しかしながら、少額なリース取引や1年以内のリース取引、オペレーティングリース取引は賃貸借処理が継続され、さらに「中小企業の会計指針」を適用する会社は、賃貸借処理を選択することが可能になります。